

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2029年4月20日まで（2013年12月16日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン （年1回決算型）

愛称：花こよみ年1



第3期（決算日：2016年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）（愛称：花こよみ年1）」は、去る4月20日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **TEL. 0120-151034**
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	10
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
◇損益の状況	11
◇お知らせ	12

マザーファンドのご報告

◇三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	13
--------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	価額			(参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税込み 分配	み 金	期 騰落	中 率	シティ世界国債 インデックス (除く日本・円ベース)			
(設定日)	円		円		%		%		百万円
2013年12月16日	10,000		—		—	404.59	—	—	10
1期(2014年4月21日)	10,526		0		5.3	414.30	2.4	97.4	2,286
2期(2015年4月20日)	11,549		0		9.7	464.07	12.0	97.8	10,698
3期(2016年4月20日)	10,508		0		△9.0	439.03	△5.4	97.1	10,638

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	シ テ イ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス (除 く 日 本 ・ 円 ベ ー ス)	騰 落 率		
(期首) 2015年4月20日	円 11,549	% —	464.07	% —	% 97.8	% —
4月末	11,611	0.5	467.47	0.7	98.2	—
5月末	11,411	△ 1.2	477.01	2.8	98.0	—
6月末	11,119	△ 3.7	468.92	1.0	98.2	—
7月末	10,873	△ 5.9	475.96	2.6	98.3	—
8月末	10,453	△ 9.5	467.18	0.7	97.3	—
9月末	10,236	△ 11.4	465.88	0.4	97.5	—
10月末	10,616	△ 8.1	467.32	0.7	98.1	—
11月末	10,628	△ 8.0	467.10	0.7	98.3	—
12月末	10,781	△ 6.6	459.32	△ 1.0	96.7	—
2016年1月末	10,493	△ 9.1	459.28	△ 1.0	97.2	—
2月末	10,103	△ 12.5	444.84	△ 4.1	97.4	—
3月末	10,664	△ 7.7	451.28	△ 2.8	96.4	—
(期末) 2016年4月20日	10,508	△ 9.0	439.03	△ 5.4	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

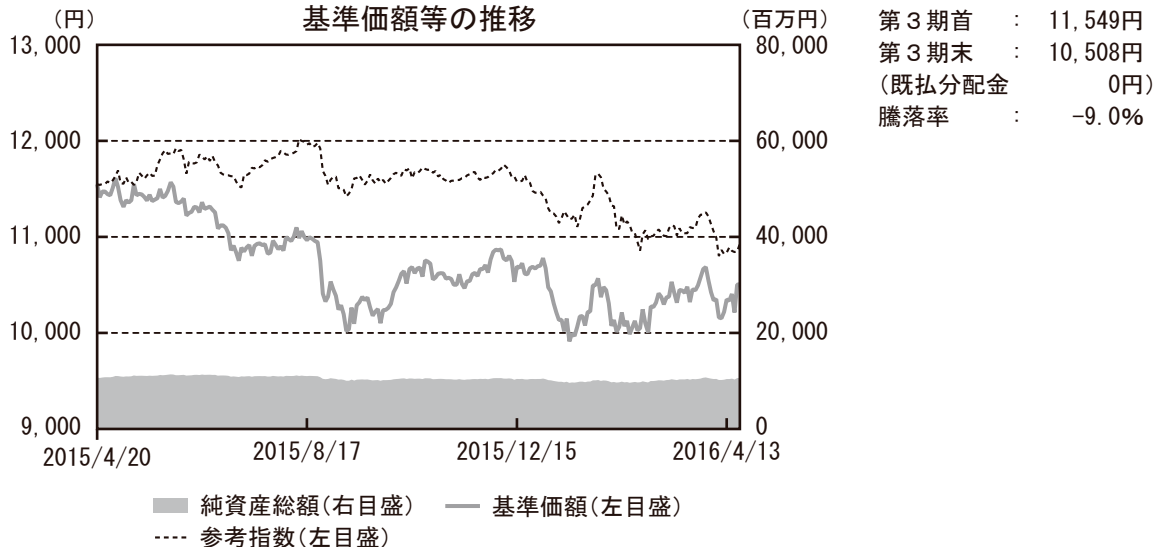
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第3期：2015/4/21～2016/4/20）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.0%の下落となりました。

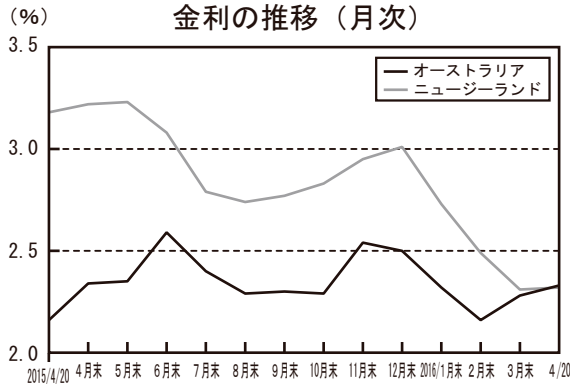


基準価額の変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したほか、ニュージーランド金利が低下（債券価格は上昇）したことなどが上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルやニュージーランドドルが対円で下落したことなどが下落要因となりました。

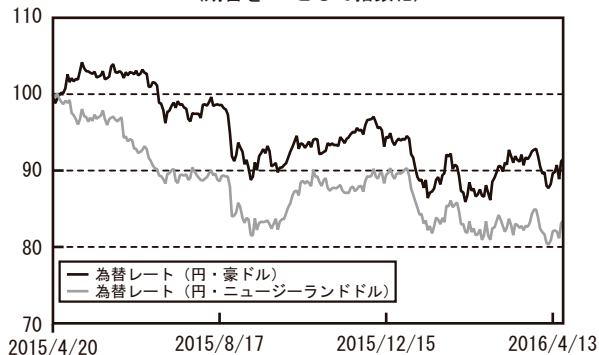
投資環境について

（第3期：2015/4/21～2016/4/20）



◎債券市況

- ・ オーストラリア金利は上昇した一方、ニュージーランド金利は低下しました。
- ・ オーストラリア金利、ニュージーランド金利は、米国の利上げ観測の高まりやオーストラリアにおける利下げ打ち止め観測から2015年6月中旬にかけて上昇しましたが、8月下旬にかけて中国景気の先行きに対する懸念や原油価格などの商品市況の下落を受けて低下しました。10月末から11半ばにかけて、米国の利上げ観測の高まりによる米国金利の上昇を受けて、オーストラリア金利やニュージーランド金利も上昇しましたが、中国景気の先行き懸念の高まりや商品市況の下落を受けた期待インフレの低下などから、2016年3月初めにかけては低下基調となりました。その後、オーストラリア金利は良好な経済指標の発表などを受けて上昇に転じ、期首と比較すると、上昇しました。一方、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が3月に予想外の利下げを行ったことなどから、ニュージーランド金利はさらに低下しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)

◎為替市況

- ・ 豪ドル、ニュージーランドドルは、新興国の景気減速懸念や米国金融政策への不透明感などから、円が相対的に選好されたため、対円で下落しました。なお、RBNZによる利下げも、ニュージーランドドルの下落要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

- ・当ファンドは、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。期を通じて、オーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

基準価額は期首に比べ7.9%の下落となりました。

(投資国)

- ・期を通じてオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国（オーストラリア、ニュージーランド）の中で、債券市場の流動性などを考慮し、期を通じてオーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を享受したほか、ニュージーランド金利が低下したものの、豪ドル、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどから、基準価額は下落しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2015年4月20日）

最終利回り	2.6%
直接利回り	4.2%
デュレーション	5.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

期末（2016年4月20日）

最終利回り	2.5%
直接利回り	4.0%
デュレーション	5.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております（先物は考慮しておりません）。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

（ご参考）

債券の格付分布

期首（2015年4月20日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	98.1%	76
AA格	0.0%	0
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・ A A 格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・ A 格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・ B B B 格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・ B B 格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はR & I社、JCR社、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

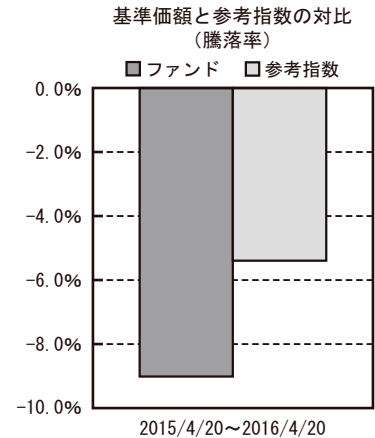
期末（2016年4月20日）

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	96.3%	79
AA格	1.1%	2
A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・ A A 格 (AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・ A 格 (A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・ B B B 格 (BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・ B B 格 (BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はR & I社、JCR社、S & P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期	
	2015年4月21日～2016年4月20日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	1,257	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

◎今後の運用方針

- ・三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア金利、ニュージーランド金利は低下余地を探る展開を想定します。オーストラリアでは、設備投資の先行きに不透明感が強いことや国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、RBA（豪州連邦準備銀行）は現行の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。また、オーストラリア国内の賃金が緩慢な伸びにとどまっていることなどから期待インフレは引き続き抑制されるものと思われます。ニュージーランドでは物価が低迷し、期待インフレが抑制されていることなどから、RBNZによる利下げ観測は当面残存すると考えます。
- ・オーストラリア、ニュージーランドではRBAとRBNZが当面緩和的な金融政策を維持すると考えられますが、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、新たな次元での金融緩和姿勢をもって臨むものと思われるため、円相場には緩やかな下落期待が維持されそうです。そのため、豪ドルとニュージーランドドルは対円で概ね横ばいでの推移を想定します。

◎今後の運用方針

（投資国）

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

（通貨）

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

（金利）

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2015年4月21日～2016年4月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	128	1.188	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(64)	(0.594)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(58)	(0.540)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.023	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	130	1.211	
期中の平均基準価額は、10,749円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年4月21日～2016年4月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 714,457	千円 1,570,429	千口 343,289	千円 723,927

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月21日～2016年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,946	百万円 —	% —	百万円 69,886	百万円 59,854	% 85.6

平均保有割合 3.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)			当 期 末		
	口 数			口 数 評 価 額		
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 4,637,863			千口 5,009,031 千円 10,612,134		

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 10,612,134	% 99.0
コール・ローン等、その他	108,103	1.0
投資信託財産総額	10,720,237	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(319,592,357千円)の投資信託財産総額(324,879,903千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=85.12円

1 ニュージーランドドル=76.58円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,720,237,346
コール・ローン等	108,103,179
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	10,612,134,167
(B) 負債	81,869,160
未払解約金	20,961,101
未払信託報酬	60,709,067
未払利息	269
その他未払費用	198,723
(C) 純資産総額(A-B)	10,638,368,186
元本	10,123,903,489
次期繰越損益金	514,464,697
(D) 受益権総口数	10,123,903,489口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,508円

<注記事項>

- ①期首元本額 9,263,676,016円
 期中追加設定元本額 2,466,598,783円
 期中一部解約元本額 1,606,371,310円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0508円です。

②分配金の計算過程

項 目	2015年4月21日～ 2016年4月20日
費用控除後の配当等収益額	316,463,155円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	481,716,161円
分配準備積立金額	474,963,625円
当ファンドの分配対象収益額	1,273,142,941円
1万口当たり収益分配対象額	1,257円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2015年4月21日～2016年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,282
受取利息	31,927
支払利息	△ 645
(B) 有価証券売買損益	△ 774,213,345
売買益	118,400,905
売買損	△ 892,614,250
(C) 信託報酬等	△ 125,402,264
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 899,584,327
(E) 前期繰越損益金	474,963,625
(F) 追加信託差損益金	939,085,399
(配当等相当額)	(476,474,594)
(売買損益相当額)	(462,610,805)
(G) 計(D+E+F)	514,464,697
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	514,464,697
追加信託差損益金	939,085,399
(配当等相当額)	(481,716,161)
(売買損益相当額)	(457,369,238)
分配準備積立金	791,426,780
繰越損益金	△1,216,047,482

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2015年7月1日)
- ②信託金の限度額を従来の5,000億円から1兆円へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2015年7月18日)
- ③2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第13期》決算日2016年4月20日

[計算期間：2015年4月21日～2016年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、シティ世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとし、ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主 要 運 用 対 象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) シティ世界国債インデックス (除 く 日 本 ・ 円 ベ ー ス)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
9期(2012年4月20日)	円	%		%	%	%	百万円
	16,096	9.3	301.39	3.0	98.2	—	247,598
10期(2013年4月22日)	21,160	31.5	386.53	28.2	98.1	—	304,385
11期(2014年4月21日)	20,722	△ 2.1	414.30	7.2	97.7	—	285,882
12期(2015年4月20日)	23,012	11.1	464.07	12.0	98.1	—	417,197
13期(2016年4月20日)	21,186	△ 7.9	439.03	△ 5.4	97.3	—	320,502

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス (除く日本・円ベース) は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) シティ世界国債インデックス (除 く 日 本 ・ 円 ベ ー ス)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期首) 2015年4月20日	23,012	—	464.07	—	98.1	—
4月末	23,145	0.6	467.47	0.7	98.5	—
5月末	22,764	△ 1.1	477.01	2.8	98.2	—
6月末	22,203	△ 3.5	468.92	1.0	98.4	—
7月末	21,731	△ 5.6	475.96	2.6	98.5	—
8月末	20,912	△ 9.1	467.18	0.7	97.5	—
9月末	20,497	△ 10.9	465.88	0.4	97.8	—
10月末	21,279	△ 7.5	467.32	0.7	98.4	—
11月末	21,326	△ 7.3	467.10	0.7	98.5	—
12月末	21,656	△ 5.9	459.32	△ 1.0	96.9	—
2016年1月末	21,095	△ 8.3	459.28	△ 1.0	97.5	—
2月末	20,331	△ 11.7	444.84	△ 4.1	97.6	—
3月末	21,487	△ 6.6	451.28	△ 2.8	96.6	—
(期末) 2016年4月20日	21,186	△ 7.9	439.03	△ 5.4	97.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

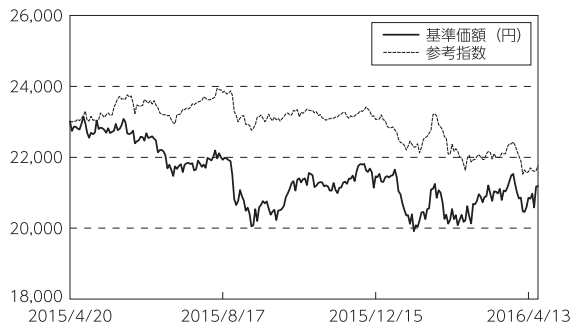
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.9%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・オーストラリア金利は上昇（債券価格は下落）した一方、ニュージーランド金利は低下しました。
- ・オーストラリア金利、ニュージーランド金利は、米国の利上げ観測の高まりやオーストラリアにおける利下げ打ち止め観測から2015年6月中旬にかけて上昇しましたが、8月下旬にかけて中国景気の先行きに対する懸念や原油価格などの商品市況の下落を受けて低下しました。10月末から11月半ばにかけて、米国の利上げ観測の高まりによる米国金利の上昇を受けて、オーストラリア金利やニュージーランド金利も上昇しましたが、中国景気の先行き懸念の高まりや商品市況の下落を受けた期待インフレの低下などから、2016年3月初めにかけては低下基調となりました。その後、オーストラリア金利は良好な経済指標の発表などを受けて上昇に転じ、期首と比較すると、上昇しました。一方、RBNZ

(ニュージーランド準備銀行)が3月に予想外の利下げを行ったことなどから、ニュージーランド金利はさらに低下しました。

◎為替市況

- ・豪ドル、ニュージーランドドルは、新興国の景気減速懸念や米国金融政策への不透明感などから、円が相対的に選好されたため、対円で下落(円高)しました。なお、RBNZによる利下げも、ニュージーランドドルの下落要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて (投資国)

- ・期を通じてオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国(オーストラリア、ニュージーランド)の中で、債券市場の流動性を考慮し、期を通じてオーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・前記の運用の結果、債券の利子収益を享受したほか、ニュージーランド金利が低下したものの、豪ドル、ニュージーランドドルが対円で下落したことなどから、基準価額は下落しました。

◎今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア金利、ニュージーランド金利は低下余地を探る展開を想定します。オーストラリアでは、設備投資の先行きに不透明感が強いことや国内のインフレ動向が低位で落ち着いていることなどから、RBA(豪州連邦準備銀行)は現行の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。また、オーストラリア国内の賃金が緩慢な伸びにとどまっていることなどから期待インフレは引き続き抑制されるものと思われます。ニュージーランドでは物価が低迷し、期待インフレが抑制されていることなどから、RBNZによる利下げ観測は当面残存すると考えます。
- ・オーストラリア、ニュージーランドではRBAとRBNZが当面緩和的な金融政策を維持すると考えられますが、日銀は「物価安定の目標」の実現に向けて、新たな次元での金融緩和姿勢をもって臨むものと思われるため、円相場には緩やかな下落期待が維持されそうです。そのため、豪ドルとニュージーランドドルは対円で概ね横ばいでの推移を想定します。

◎今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2015年4月21日～2016年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.019	
期中の平均基準価額は、21,535円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月21日～2016年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 304,849	千オーストラリアドル 374,265
		特殊債券	170,764	520,792
		国債証券	千ニュージーランドドル 168,115	千ニュージーランドドル 327,022
国	ニュージーランド	特殊債券	46,503	53,975

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月21日～2016年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	5,946	—	—	69,886	59,854	85.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 2,326,000	千オーストラリアドル 2,576,659	千円 219,325,254	% 68.4	% —	% 45.9	% 17.2	% 5.3
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 1,097,600	千ニュージーランドドル 1,209,504	92,623,852	28.9	—	15.7	11.0	2.2
合 計	—	—	311,949,106	97.3	—	61.6	28.2	7.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
国債証券	2.75 AUST GOVT 191021	2.75	10,000	10,246	872,207	2019/10/21
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	80,000	81,681	6,952,737	2024/4/21
	2.75 AUST GOVT 350621	2.75	10,000	9,444	803,873	2035/6/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	160,000	168,121	14,310,510	2029/4/21
	3.25 AUST GOVT 390621	3.25	20,000	19,870	1,691,368	2039/6/21
	3.75 AUST GOVT 370421	3.75	85,000	92,381	7,863,504	2037/4/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	75,000	86,120	7,330,555	2026/4/21
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	70,000	84,193	7,166,584	2033/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	70,000	84,198	7,167,001	2027/4/21
	5.5 AUST GOVT 230421	5.5	100,000	120,066	10,220,017	2023/4/21
	5.75 AUST GOVT 210515	5.75	75,000	87,813	7,474,706	2021/5/15
	5.75 AUST GOVT 220715	5.75	120,000	143,878	12,246,963	2022/7/15
特殊債券	2.5 EUROPEAN INVE 200430	2.5	15,000	14,850	1,264,058	2020/4/30
	2.6 ASIAN DEV 200116	2.6	5,000	4,995	425,198	2020/1/16
	2.7 INTL FINAN 210205	2.7	5,000	4,985	424,373	2021/2/5
	2.7 NORDIC INVEST 200204	2.7	10,000	10,002	851,424	2020/2/4
	2.75 INTER-AMERIC 251030	2.75	7,000	6,824	580,877	2025/10/30
	2.75 WEST AUST TR 221020	2.75	20,000	19,885	1,692,628	2022/10/20
	2.8 IBRD 210113	2.8	10,000	10,027	853,546	2021/1/13
	2.9 EUROPEAN INVE 251017	2.9	15,000	14,698	1,251,160	2025/10/17
	3 ASIAN DEV 261014	3.0	20,000	19,824	1,687,423	2026/10/14
	3 VICTORIA 281020	3.0	20,000	20,002	1,702,628	2028/10/20
	3.25 QUEENSLAND 260721	3.25	20,000	20,328	1,730,382	2026/7/21
	3.5 ASIAN DEVELOP 170705	3.5	20,000	20,264	1,724,897	2017/7/5
	3.5 ASIAN DEVELOP 190522	3.5	20,000	20,576	1,751,495	2019/5/22
	3.5 INTER-AMER 170926	3.5	30,000	30,475	2,594,056	2017/9/26
	3.5 INTL FIN CORP 180606	3.5	40,000	40,844	3,476,685	2018/6/6
	3.5 NEWSWALES 190320	3.5	70,000	72,690	6,187,381	2019/3/20
	3.5 NORDIC INVEST 180228	3.5	20,000	20,376	1,734,432	2018/2/28
	3.75 ASIAN DEVELO 250312	3.75	15,000	15,846	1,348,871	2025/3/12
	3.75 INTER-AME 181009	3.75	40,000	41,208	3,507,703	2018/10/9
	3.75 INTER-AMERIC 220725	3.75	15,000	15,736	1,339,510	2022/7/25
	3.75 INTL BK RECO 190123	3.75	30,000	31,001	2,638,811	2019/1/23
	4 AFRICAN DEVELOP 250110	4.0	10,000	10,665	907,826	2025/1/10
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	35,000	37,682	3,207,505	2025/4/3
	4 NEWSWALES 210408	4.0	70,000	75,457	6,422,940	2021/4/8
	4 NEWSWALES 230420	4.0	100,000	109,205	9,295,538	2023/4/20
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	11,019	937,966	2025/6/24
	4.25 INTL FINANCE 230821	4.25	10,000	10,875	925,753	2023/8/21
	4.5 INTL BK RECON 170307	4.5	70,000	71,288	6,068,034	2017/3/7
	4.75 EUROPEAN INV 240807	4.75	10,000	11,209	954,121	2024/8/7
	4.75 INTER-AMERIC 240827	4.75	10,000	11,267	959,106	2024/8/27
	4.75 NORDIC INVES 240228	4.75	35,000	39,271	3,342,820	2024/2/28
	5 ASIAN DEV BANK 220309	5.0	25,000	27,907	2,375,490	2022/3/9

銘柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
特殊債券	5 NORDIC INVES BK 220419	5.0	8,000	8,912	758,662	2022/4/19
	5.5 VICTORIA 241217	5.5	60,000	73,056	6,218,577	2024/12/17
	5.5 VICTORIA 261117	5.5	25,000	31,131	2,649,921	2026/11/17
	5.75 INTL BK RECO 191021	5.75	70,000	77,463	6,593,660	2019/10/21
	6 ASIAN DEV BK 180222	6.0	26,000	27,641	2,352,805	2018/2/22
	6 EUROPEAN INVEST 200806	6.0	18,000	20,344	1,731,736	2020/8/6
	6 INTL BK RECON 161109	6.0	30,000	30,614	2,605,872	2016/11/9
	6 NEWSWALES 230501	6.0	70,000	86,034	7,323,237	2023/5/1
	6 QUEENSLAND 210614	6.0	65,000	76,434	6,506,141	2021/6/14
	6 VICTORIA 200615	6.0	110,000	126,296	10,750,376	2020/6/15
	6 VICTORIA 221017	6.0	60,000	72,594	6,179,216	2022/10/17
	6.25 ASIAN DEV BK 200305	6.25	37,000	41,903	3,566,832	2020/3/5
	6.5 EUROPEAN INVE 190807	6.5	20,000	22,414	1,907,898	2019/8/7
	6.5 INTER-AMERICA 190820	6.5	20,000	22,505	1,915,630	2019/8/20
小 計					219,325,254	
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
国債証券	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	60,000	60,114	4,603,530	2025/4/15
	3 NZ GOVT 200415	3.0	175,000	180,183	13,798,452	2020/4/15
	3.5 NZ GOVT 330414	3.5	10,000	10,389	795,612	2033/4/14
	4.5 NZ GOVT 270415	4.5	100,000	115,242	8,825,232	2027/4/15
	5 NZ GOVT 190315	5.0	80,000	86,380	6,615,041	2019/3/15
	5.5 NZ GOVT 230415	5.5	200,000	238,794	18,286,844	2023/4/15
	6 NZ GOVT 171215	6.0	30,000	31,885	2,441,791	2017/12/15
	6 NZ GOVT 210515	6.0	190,000	223,721	17,132,569	2021/5/15
特殊債券	3.25 ASIAN DEVELO 170720	3.25	23,000	23,206	1,777,133	2017/7/20
	3.5 IBRD 210122	3.5	12,600	12,882	986,547	2021/1/22
	3.5 NORDIC INVEST 180130	3.5	5,000	5,078	388,927	2018/1/30
	3.625 INTL BK REC 180220	3.625	5,000	5,094	390,162	2018/2/20
	3.625 INTL FINAN 200520	3.625	20,000	20,578	1,575,898	2020/5/20
	3.75 INTL BK RECO 200210	3.75	20,000	20,656	1,581,873	2020/2/10
	4.125 ASIAN DEVEL 161028	4.125	8,000	8,066	617,741	2016/10/28
	4.125 NORDIC INVE 200319	4.125	10,000	10,456	800,742	2020/3/19
	4.5 AFRICAN DEVEL 190827	4.5	10,000	10,519	805,550	2019/8/27
	4.5 INTL BK RECON 160816	4.5	10,000	10,063	770,663	2016/8/16
	4.625 ASIAN DEVEL 190306	4.625	45,000	47,350	3,626,100	2019/3/6
	4.625 IBRD 211006	4.625	10,000	10,792	826,512	2021/10/6
	4.625 INTL BK REC 190226	4.625	29,000	30,518	2,337,128	2019/2/26
	4.875 NORDIC INVE 190122	4.875	38,000	40,160	3,075,504	2019/1/22
	6 INTER-AMERICAN 171215	6.0	7,000	7,368	564,289	2017/12/15
小 計					92,623,852	
合 計					311,949,106	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2016年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 311,949,106	% 96.0
コール・ローン等、その他	12,930,797	4.0
投資信託財産総額	324,879,903	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(319,592,357千円)の投資信託財産総額(324,879,903千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=85.12円	1 ニュージーランドドル=76.58円
--------------------	---------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	324,879,903,259 円
コール・ローン等	7,648,100,957
公社債(評価額)	311,949,106,975
未収入金	1,858,186,625
未収利息	3,307,772,283
前払費用	116,736,419
(B) 負債	4,377,575,942
未払金	1,692,628,224
未払解約金	2,684,937,275
未払利息	8,956
その他未払費用	1,487
(C) 純資産総額(A-B)	320,502,327,317
元本	151,277,665,133
次期繰越損益金	169,224,662,184
(D) 受益権総口数	151,277,665,133口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,186円

<注記事項>

- ①期首元本額 181,295,894,753円
 期中追加設定元本額 6,915,149,965円
 期中一部解約元本額 36,933,379,585円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.1186円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	44,615,618,805円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,009,031,515円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	98,806,359,048円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	2,846,655,765円
合計	151,277,665,133円

○損益の状況 (2015年4月21日~2016年4月20日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,407,311,831 円
受取利息	14,407,327,669
支払利息	△ 15,838
(B) 有価証券売買損益	△ 47,410,426,263
売買益	2,670,889,769
売買損	△ 50,081,316,032
(C) 保管費用等	△ 67,428,463
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 33,070,542,895
(E) 前期繰越損益金	235,901,161,743
(F) 追加信託差損益金	8,197,201,674
(G) 解約差損益金	△ 41,803,158,338
(H) 計(D+E+F+G)	169,224,662,184
次期繰越損益金(H)	169,224,662,184

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月1日)
 ②信託金の限度額を従来の5,000億円から1兆円へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。(2015年7月18日)